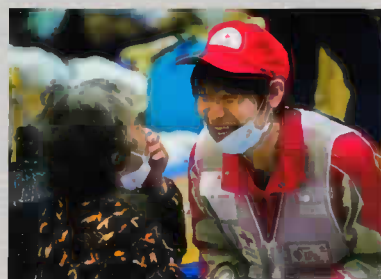


# 熊本地震災害での救護活動

平成28年4月14日21時26分頃、熊本地震が発生。日本赤十字社では災害発生直後から情報収集を開始し、全国的なネットワークを活かして、毛布やブルーシート等の「救援物資」を被災地に届けるとともに、「救護班」を派遣して怪我や病気等の緊急を要する医療救護を中心に活動しました。また、長期化する避難生活での「保健衛生・健康管理」、被災された方々のストレス軽減のため「こころのケア」等も行いました。

- ▶ 救護班207班：約1,242名
- ▶ 熊本赤十字病院への医療支援要員：285名
- ▶ こころのケア要員：149名

- 救援物資の配布
- ▶ 毛布：22,480枚
  - ▶ ブルーシート：11,230枚
  - ▶ 安眠セット：6,401個



## 赤十字の9つの事業



### 災害救護活動

災害発生時、迅速に医療救護活動を展開するために、救護訓練を行い、救援物資の備蓄と配布を行います。



### 医療事業

赤十字病院・産院は、公的医療機関として、地域に根ざした医療活動を行い、被災地への医師・看護師の派遣を行います。



### 血液事業

血液センターと14の献血ルームを整備し、より安全性の高い血液製剤の供給につとめています。



### 救急法等の講習

緊急時の救命方法・応急手当や病気の予防・介護の仕方等の知識と技術をお伝えする講習会を実施しています。



### 赤十字ボランティア

地域や学校で技能や特色を生かして、災害時に備えた活動や福祉活動に取り組んでいます。



### 国際活動

世界190の国と地域にある赤十字と協力し、災害の被災者や紛争犠牲者の救援、保健衛生環境の改善を行っています。



### 青少年赤十字活動

健康・安全、奉仕、国際理解・親善の3つの実践目標を掲げ、学校を中心に先生が指導者となって、青少年の育成に取り組んでいます。



### 社会福祉事業

保育所や児童福祉施設を運営し、未来を担う子どもたちを支援しています。



### 看護師等養成事業

地域医療のほか、赤十字の人道の理念のもと、国内外の被災地や紛争地域で活躍できる赤十字看護師の養成を支援しています。

私たちの活動は都民の皆さまのご寄付により支えられています。

大切ないのちと健康を守るため、  
赤十字活動へのご協力をお願いいたします。